

一期一会

三木東中学校 学校通信

2026 年度 NO.5

7月17日（金）発行

「有意義な時間」のある夏休みにしよう！

明日から8月31日まで45日間の夏休みが始まります。「長い夏休み、しっかりと計画を立てて有意義な時間を過ごしましょう。」と、小学校から今まで何度も言われてきたと思います。さて、自分にとって「有意義な時間」というのは、どんなことでしょうか。



「有意義」の意味を生成AIに質問してみると「やる価値や意味があって、役に立つこと、充実していて得るものがあること」と回答がありました。

では、自分にとってやる価値や意味があって充実したものとはどういうことでしょうか。これは人の数だけ答えがあるでしょう。試しに生成AIに尋ねてみたら、「こんなことではないでしょうか」と、ものすごくたくさんの回答が返ってきましたが、変な感覚がありました。何か、生成AIに決められているような、そう思わされているような不思議な感覚でした。自分で考えたことでないと、やはり有意義なものにはならないのでしょうか。

「自分にとって有意義な時間ってなんだろう？」この夏休みに、自分の頭でぜひみんなに考えてほしいことです。それはただ単に楽しいだけの時間ではありません。何か得るものがないと有意義な時間にはならないです。楽に手に入るものなどありません。何もせず、自分で努力もせず、人に与えられるのを待っているだけの人は、決して満足するものを得ることはないです。

「あれがほしい。」「これもほしい。」「こんな風になりたい。」と夢を見るならば、楽しいだけのことを我慢して、努力する時間をつくってほしいと思います。勉強でも運動でも集中して取り組んだり、歯を食いしばって努力したりしただけ、得られるものは大きくなります。それこそが「有意義な時間」だと思います。

さて、自分にとって有意義な時間とはどんなものなのでしょうか。しっかりと考えてから計画的に良い夏休みを過ごしましょう。

【保護者の皆様へ】

夏休み中は、生徒が家庭で過ごす時間が増えますので、ぜひ普段できないこと、していないことを経験させていただきたいと思います。例えば、部屋の整理整頓や掃除、じっくりと時間をかけた研究や読書、普段作ったことのないような時間のかかる料理など、夏休みだからこそできることはたくさんあると思います。

そして、そのことを話題にたくさん会話をしてほしいと思います。自分が何かをしたときに、見てもらった、ほめてもらった、アドバイスされた、などの経験があると、そのことが記憶に残ります。人に見られたり、関心を持たれたりすることは、とても嬉しいものです。子どもはそんな体験を増やすことで、人を信頼し、自分にも自信を持つことができるようになります。ぜひ、たくさんの会話をし、お子様との「有意義な時間」をつくってほしいと思います。

